

令和 5 年度事業活動報告

1 活動の成果と課題

新型コロナウイルス感染症が 5 類移行後、行動規制の緩和により当法人でも「わっくわくまつり」と「ソーシャルフットボールとともカップ」を 4 年ぶりに再開し好評であった。さらに賛同された団体や個人のみなさまから「協賛金」としてご寄付をいただき、地域との新たな関係性が生まれた。法人内部でも職員同士の交流が生まれ、風通し良い職場環境づくりに寄与した。

事業経営について、GH の利用者が増え定員に達した一方、長期入院などにより給付費はほぼ横ばい状態であった。WS は昨年度就労移行支援事業を廃止し就労継続支援 B 型事業に一本化したものの、それぞれの事情により退所される方が相次ぎ、給付費は大幅に減少した。利用者の来所日数の増加や新規利用者の掘り起こしなど、給付費回復の対策が急務となっている。

2 事業

- (1) 障がい者就労支援事業所ワークショップようてい の運営 【個別事業報告 1】 参照
- (2) グループホームよろこび の運営 【個別事業報告 2】 参照
- (3) K.S.C Juntos の運営 【個別事業報告 3】 参照

3 活動

- (1) 精神疾患や障害に関する理解と交流、広報活動
 <講演会・研修会・交流活動>

◎みんなで学ぼうシリーズ

当地域に必要とされる学びの場について再検討し、適した形態へ移行してゆく。

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> ・当地域に必要とされる学びの場は、地域の課題となっている地域包括ケアシステムの構築につながるものと考え、自立支援協議会主催への移行を検討した。
-----------	---

◎地域の支援者のスキルアップ企画として「たね塾」を開講する

月 1 回（5 月～11 月）、全 7 回の予定

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> ・5 月～11 月、全 7 回開催した ・定員 15 名 ・参加者は平均 8.6 人であった
-----------	--

◎地域の支援者向けの WRAP「くらっぷ」

コロナウイルス 5 類移行後の経過をみて、開催を検討してゆく

開催時は、偶数月第 4 水曜日を継続する

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス 5 類移行となったが、以前開催していた会場の使用が出来ず、それ以上の検討には至らなかった。
-----------	--

第 1 号議案 令和 5 年度事業活動報告に関する件

<広報活動>

◎通信ともへの発行

障がい者情報の発信と法人活動の現状を伝えるため、月 1 回の発行を継続する。

実施内容とその結果	9月は発行できなかったが、年 11 回発行できた。
-----------	---------------------------

◎インターネット媒体の充実

ホームページ、ブログの随時更新につとめる。

実施内容とその結果	随時更新している。ワークショップでは調理部と農業部がインスタグラムを開設し、随時更新している。
-----------	---

(2) 地域内外の福祉関係団体と連携する活動

団体名	形態	活動内容とその結果
羊蹄山ろく地域自立支援協議会	参加	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業担当者会議 毎月出席 就労支援部会 毎月出席 知ってる会? 毎月出席 地域活動支援センター「夢の匠」サポート部会 9回出席 3回欠席 障がい者地域包括ケアシステム検討会
羊蹄山麓障害支援区分認定審査会	推薦	
後志圏域地域生活移行支援協議会	委嘱	2回出席
後志保健医療福祉圏域連携推進会議	委嘱	1回出席
倶知安町障害者施策推進協議会	推薦	2回出席
一般社団法人北海道精神保健福祉士協会	理事	北海道地区年 4 回理事会 後志ブロック例会
一般社団法人北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部	部会 役員	総会出席、山麓地区会研修会

(3) 講師派遣活動・実習受け入れ活動

派遣先・委託契約団体	月日	派遣場所および内容とその結果
特定非営利活動法人きなはれ	9月11日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	10月5日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	10月23日	サービス管理責任者基礎研修 オンライン
	11月9日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	12月4日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	12月25日	サービス管理責任者基礎研修 オンライン
	1月16日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	2月1日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	2月8日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	2月29日	サービス管理責任者基礎研修 オンライン
	3月7日	サービス管理責任者更新研修 オンライン
	3月26日	サービス管理責任者基礎研修 オンライン
ルスツ高校	9月5日～8日	インターンシップ実習
蘭越高校	9月13日～14日	インターンシップ実習

(4) 組織の運営安定化、拡充活動

活動項目	計画	実施内容とその結果 注(前年比)
会員	正会員 25人以上 賛助会員団体・個人合わせ 80人以上	正会員 18人(-1) 賛助会員団体 6(+3) 個人 47人(+2)
寄付金	目標人数のべ 20人	のべ 35人(+14) 856,250円(+109,210)

(5) 助成金・補助金活用の活動

助成・補助団体名	金額	助成内容
北海道労働局	138,248円	両立支援等助成金(コロナ小学校休業等対応)
北洋銀行パラスポーツ応援事業	100,000円	K.S.C. Juntos 活動費補助金
北海道新聞社社会福祉振興基金	167,000円	手押し式播種機一式2台 全自動珈琲マシン 精米機
公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団	450,000円	GHまどかエアコン設置
物価移行等対策支援事業	320,000円	北海道

(6) 認定NPO法人活動

- ◎なぜ寄付が必要なのか、将来設計と寄付金の使いみちを明確にする。
- ◎認定NPO法人であることを広め、活動の賛同者を募る。
- ◎寄付金の納税還付の利点を広める。

実施内容とその結果	「わっくわくまつり」「ともにカップ」の開催により協賛金で寄付を集めることができた。
-----------	---

(7) 借入金返済の取り組み

- ◎事業の黒字化を維持し計画どおりの返済を実施する。

活動項目	区分	実施内容とその結果
長期借入金	役員・個人	3件契約通りに返済を実施できた。
	金融機関	1件契約通りに返済を実施できた。

第 1 号議案 令和 5 年度事業活動報告に関する件

(8) 職員の働く意欲向上を目指す。

活動項目	計画	
キャリアパス制度の研修制度の充実と評価制度を再構築する。	研修制度	研修制度の充実を図ることが出来ていない
	評価制度	評価制度の再構築もできていない
	職位昇格	職位昇格の検討もできていない
福利厚生を充実し、働く環境の整備を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染時や警報発令時の休業および休暇について規定を策定し働く環境の整備に努めた 	
職員のストレスチェックを導入し、年 1 回は全職員対象の理事長面談を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェック及び理事長面談は実施できていない 	

(9) 防災対策を定期的実施する。

- ◎各種感染症の防止対策を定期的に見直し点検する。
- ◎火災訓練を年 1 回以上実施する。また事業所単位で防災教育を実施する。
- ◎地震、洪水を想定した防災訓練を年 1 回以上事業所単位で実施する。

実施内容	WS	GH
火災訓練	GH と合同 6 月 26 日	WS と合同 6 月 26 日 単独 3 月 17 日
防災教育	実施できなかった	

(10) 虐待防止対策をすすめる

- ◎虐待防止委員会によるチェック機能をすすめる
- ◎虐待防止の法人内研修を年 1 回行う
- ◎職員同士が行動や言動をチェックし、風通しのよい環境を整える。

実施内容とその結果	<ul style="list-style-type: none"> ・2 月 20 日に虐待防止委員会を開き、虐待事案の確認をおこなった。 ・3 月に複数回で全職員に法人内研修を実施 WS…12 日、19 日、25 日 GH…14 日、22 日 管理職…29 日
-----------	--